

亀山市立関中学校

第15回公共建築賞

(国土交通大臣表彰) 受賞

亀山市立関中学校が、(一社)公共建築協会主催の「第15回公共建築賞」生活施設部門で、公共建築賞(国土交通大臣表彰)を受賞しました(平成28年11月)。この賞は、公共建築の総合的水準の向上に寄与することを目的とし、企画・設計・施工が優れていること、また地域社会への貢献や文化性の高さ、施設の管理・保全といった視点から評価が行われています。

関中学校の特徴は、木造で地場産の杉丸太や地域の杉材等を柱・壁・天井などに使用し「木のぬくもりを感じる校舎」であること、また重要伝統的建造物群保存地区選定の関宿の町並みが近くにあることから「まちづくりと調和のとれた学校施設」であることが挙げられます。さらに、校舎は竣工から5年が経過していますが、この間、生徒は校舎を大切に思い、地域の方々からも愛されていることなどから、そのことが高く評価され、今回の受賞となりました。



亀山市立関中学校
校長 中川博文

今回の受賞は、子どもたちが心安らぐ環境で健やかに成長できる学校を創ろうと、さまざまな方が懸命に取り組まれてきたことの結果だと考えます。ここで学び、未来に向けて旅立つ生徒たちには、人を愛し、母校を愛し、そして故郷を愛する心が育まれているものと信じています。



亀山市名誉市民

彫刻家 **中村 晋也**

作品紹介「ふるさとあい」Vol.9

「西郷どんのツン」(平成2(1990)年制作)

西郷隆盛の狩り好きは有名で、鹿児島県の各地に多くの逸話が残っています。なかでも薩摩犬ツンとの出会いは劇的でした。入手の御礼として、西郷は犬の持主に自分の愛馬を与え、その仲介者に金二十貫を贈ったといわれています。薩摩犬は秀でた狩猟犬で、体軀は柴犬とよく似ていますが、ぴんと伸びた尻尾が特徴です。英雄がぞっこん惚れ込んだという賢い犬の表現に中村は苦心したと言います。この像はツンの故郷、薩摩川内市東郷町、龍のように地面を這う臥龍梅で有名な藤川天神の境内で、今でも西郷どんの帰りを待っています。



85cm(高さ)×44cm(幅)×95cm(奥行き)

特別協力 公益財団法人中村晋也美術館(URL <http://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/index.html>)